

第5期みやぎ観光戦略プランの令和5年度の実施状況について【概要版】～みやぎ観光創造県民条例第12条に基づく報告～

①計画の位置づけ ■「みやぎ観光創造県民条例」に定める観光振興に関する基本計画 ■「新・宮城の将来ビジョン」の分野別計画

②計画期間 令和4年10月から令和7年3月まで

③計画の基本理念 ウィズコロナ・ポストコロナへの対応とともに、デジタル変革を進め、地域内外から選ばれる持続可能な観光地域づくり

④令和5年度事業の実施状況 【事業数】延べ事業数 287 (総事業費 95,532,034 千円) [再掲・道路整備・回復戦略・コロナ関連事業除く] 事業数 106 (1,653,613 千円)

⑤5つの観光戦略プロジェクトの具体的な取組 (令和5年度実施事業) ※担当課室は組織改編後(令和6年度)の所属を記載

回復戦略 感染症により落ち込んだ観光需要の回復【65事業・87,043,285千円】(うちコロナ対応経営安定資金等85,757,010千円)
(1)安全・安心の機運醸成と可視化による選ばれる観光地づくり (2)回復フェーズに応じた取組推進と観光資源の魅力の再発見

- ▼**宿泊・観光需要創出事業**(観光戦略課・3,271,913千円)
落ち込んだ観光・宿泊需要の早期回復を図るため、宿泊割引等を行った。(全国旅行支援約37万人泊(R5年度実施分))
- ▼**燃料高騰に伴う観光・交通等支援事業**(観光戦略課・123,840千円)
バス等を活用した旅行商品の造成や係る経費の一部を助成した。(交付決定件数42件)



- ▼**観光事業者原油高騰緊急支援事業**(観光戦略課・20,150千円)
県内の遊覧船運営事業者やスキー場運営事業者に対して、支援金を交付した。(交付決定件数17件)
- ▼**誘客・周遊促進による交通事業者支援事業**(観光戦略課・1,160千円)
バス、レンタカー、タクシー等を活用した旅行商品の造成・運行経費の一部を助成した。(交付決定件数8件)

成長戦略1 魅力あふれる観光地づくり【91事業・1,869,968千円】

- (1)特色ある地域資源の発掘・磨き上げと観光コンテンツの充実
- (2)観光に対する地域住民や旅行者の意識醸成
- (3)震災の経験を生かした復興ツーリズムや教育旅行の展開
- ▼**教育旅行誘致促進事業**(観光戦略課・66,438千円)
教育旅行希望者の相談や受入調整等のマッチング支援を行ったほか、教育旅行で来県する学校に対し、バス利用経費の一部を助成するなどした。(マッチング支援:113件・延べ4,950名、教育旅行バス助成:269件)



- ▼**観光地づくりチャレンジ事業**(観光戦略課・8,149千円)
地域資源を活用した観光コンテンツを造成したほか、PR動画の作成やSNS等を活用した情報発信を行った。(【栗原】観光コンテンツ造成・商品化5種類、【仙南】周遊スタンプラリーの開催(17施設)等)

成長戦略2 観光産業の体制強化【43事業・726,336千円】

- (1)地域経済循環力の強化
- (2)地域を支える観光人財の育成・確保
- ▼**未来を担う観光人材プロジェクト**(観光戦略課・5,702千円)
県内の学生、全国通訳案内士、ボランティアガイド等を対象として、インバウンド対応等に関する研修会等を開催するなどした。(基礎研修会・実践力向上研修会各1回開催、実践模擬ツアー1回開催、研修会等受講者と県内観光関連事業者とのマッチング交流会1回開催)



実践模擬ツアーの様子

- ▼**フィルムコミッション推進事業**(観光戦略課・2,044千円)
映画、テレビ番組、コマーシャル等のロケーション撮影に関する誘致の取組を支援した。(せんだい・宮城フィルムコミッションにおける支援件数:190件、撮影実績:35件)

成長戦略3 受入環境の整備促進【27事業・713,483千円】

- (1)旅行者の安全・安心確保
- (2)多様化する旅行者の受入環境整備
- ▼**みやぎ観光戦略受入環境基盤整備事業**(観光戦略課・221,843千円)
観光客の安全な利用に配慮した自然公園施設の整備を行った。(蔵王の登山道や気仙沼大島の遊歩道などの整備)



気仙沼大島の自然公園施設整備(龍舞崎園地)

- ▼**外国人観光客受入環境整備促進事業**(観光戦略課・8,221千円)
宿泊施設、観光集客施設等における無料公衆無線LANや外国語案内表示の整備に要する経費の一部を助成した。(交付決定件数10件)

成長戦略4 戦略的な誘客プロモーション【61事業・5,178,962千円】

- (1)旅行者のニーズやターゲットに応じた戦略的プロモーション
- (2)東北各県や東北観光推進機構等と一体となった広域周遊観光の促進
- ▼**宮城オルレ推進事業**(観光戦略課・73,011千円)
令和5年11月11日に、県内5コース目となる村田コースの開設を記念し、オープニングイベントを開催したほか、韓国で開催された海外イベントに参加し、誘致促進に向けたPRを実施した。(宮城オルレ延べ利用者数:約6.2万人(H30.10~))
- ▼**外国人観光客誘致促進事業**(観光戦略課・56,206千円)
国際旅行博への出展や海外向け公式SNSを活用した情報発信のほか、台湾からの教育旅行誘致促進に向け、台湾教育関係者等向けに招請事業を実施した。(大台南国際旅行博入場者数約15万人、SNS記事投稿数494本、合計フォロワー数約29万人、台湾教育関係者等招請者数43名)



村田コースオープニングイベント

⑥数値目標に対する達成状況

※()は回復目標に対する達成状況

目標指標	実績値(令和元年)	実績値(令和3年)	実績値(令和4年)	速報値(令和5年)	第5期プラン目標値(令和6年)	
					回復目標	成長目標
1 宿泊観光客数	989万人泊	584万人泊	778万人泊	943万人泊(95.3%)	990万人泊	1,040万人泊
2 外国人観光客宿泊者数	53.4万人泊	3.6万人泊	5.9万人泊	50.7万人泊(101.4%)	50万人泊	70万人泊
3 観光消費額(観光庁共通基準による観光客入込統計)	3,989億円	2,624億円	3,117億円	3,985億円(99.9%)	3,990億円	4,200億円

⑦基本計画の実施状況の検証

- 震災から13年目となった令和5年度は、「新・宮城の将来ビジョン」3年目に当たり、ビジョンで掲げた「宮城が誇る地域資源を活用した観光産業と地域を支える商業・サービス産業の振興」を基に、287事業を積極的に推進した。
- 具体的な取組については、全国旅行支援等の需要喚起策を切れ目なく実施するとともに、原油価格高騰等の影響を受けている県内遊覧船運営事業者等への支援金交付や宿泊・交通を組み合わせた旅行商品造成に係る補助を行うなど、事業継続支援に取り組んだ。
- 国内観光客向けには、教育旅行等コーディネート支援センターにおけるマッチング支援や、教育旅行バス助成金の交付を通して、教育旅行誘致を強化したほか、仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会等と連携し、閑散期対策として秋・冬キャンペーンを開催し、県内誘客の促進を図った。
- 外国人観光客向けには、宿泊施設等における無線LAN機器の設置や外国語表記の整備などの支援を行ったほか、宮城オルレについて県内5コース目となる村田コースを開設するとともに、台湾の教育関係者等を招請し、今後の台湾からの教育旅行の誘致促進に向け、宮城県の魅力をPRする機会を創出した。
- 令和6年度は、第5期みやぎ観光戦略プランの最終年度に当たることから、数値目標の達成やポストコロナにおける観光地としての競争力を高めるために、観光地の受入環境整備のほか、市町村や関係団体と連携した誘客プロモーション等の施策を着実に実施し、更なる誘客促進を図っていく。